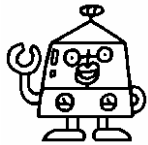


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

トウモロコシの花って、あるの



トウモロコシは、くきの先に出るほのようなものがお花、葉のわきに出るトウモロコシの実のひげが、め花なんだよ。

トウモロコシの実は、め花にたねができたもの

トウモロコシは、芽が出て成長すると、くきのてっぺんにほのようなものが出てきます。そのころ、葉のつけ根に、小さいトウモロコシの実のようなものができ、その先にひげが出てきます。この実のようなものがめ花の集まりで、ひげの先はめしべの^{ちゅうとう}柱頭です。くきの先についているのは、お花です。

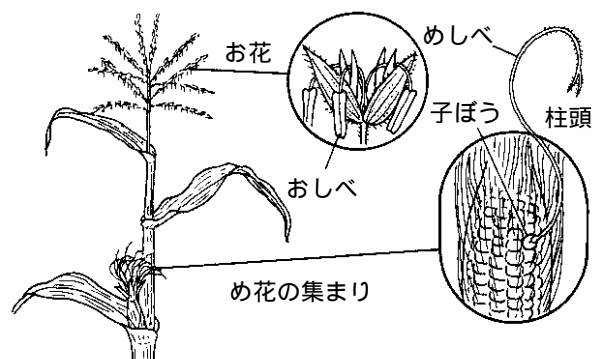
お花には、ふさのようなおしべに花粉がついていて、風が花粉を飛び散らします。花粉がめしべの柱頭につく（^{じゅふん}受粉）と、ひげの1本ずつのもとに実がなります。花粉が飛ぶころには、そのトウモロコシのめしべはまだ成長していないので、必ず、別な株のトウモロコシの花粉を受粉して、実がなるようになっています。

トウモロコシのしんの周りにびっしりついた実が、ところどころかけていることがあるのは、受粉できなかっためしべがあったためです。

花粉を風が運ぶしくみの花は、花びらもなく目立たない花が多い

たいていの花は、虫に花粉を運んでもらうため、目立つ色の花びらや、強いにおい、あまいみつなどをもっています。

しかし、イネ、トウモロコシ、スギの花などは、風が花粉を運ぶしくみの花なので、花びらがなく、目立たない花が多いものです。



トウモロコシの花